

須磨区最大のエリアを守り未来に飛躍する第8分団



執筆者

須磨消防団第8分団 分団長

羽田 郁夫

私たち須磨消防団第8分団は、須磨区の北東部に位置する「白川」を活動の拠点としており、管轄エリアには、市営地下鉄名谷駅北部の新興住宅エリアや運動施設（ユニバー記念競技場やスカイマークスタジアムなど）を有しています。また、「白川」といえば、「化石」や「徳川の散歩道」などが有名で、数百年の歴史を刻む町並みが、豊かな田園風景と相まって「癒しの町」となっています。

このように、神戸市を縮小したような新旧の町並みが混在し、六つの防災福祉コミュニティがある須磨区

内最大の管轄エリアを有するのが、わが第8分団です。

第8分団の活動は、火災や水害などの災害時のもとより、地域の方々や消防団が使用する小型動力ポンプの点検や各種パトロール活動に加え、地域住民の方々や触れ合える防火防災訓練、盆踊り、運動会などに積極的に参加することで、地域とのコミュニケーションにも力を注いでいます。

二ヶーションにも力を注いでいます。地域の皆さんとの協力体制も万全で、防災訓練後は地元の広報誌に記事を掲載していただいたり、お礼の言葉をいただくなど、消防団と一緒に活動したいと思うほど、皆さん地域を愛しておられる方が多いです。

災害活動に目をやれば、空気が乾燥するシーズンを中心に実施する山林パトロールも欠かすことができません。ハイカーの方々に、ポイ捨て防止や火気取り扱いの注意を促して

いるのですが、数年に一度は山林火災が発生しているのが現状です。そのたびに、再出火や飛び火による火災拡大を警戒するため、夜中から早朝にかけてパトロールを実施することも、私たちの重要な任務です。

余談になりますが、夜中に発生した山林火災を消火したとき、炎の明かりによって、火点にも近づいてくれたのですが、鎮火後は明かりが無くなったため周囲が見づらく、手探り足探りでホースを伝って麓までたどり着いたことを覚えています。このため、最近では強力ライトを配備して、安全な活動を心掛けています。

これからも、わが第8分団は地域のため、区民のために努力してまいりますので、ご理解とご声援をお願いいたします。

